

(案)

第4次国有林野施業実施計画書

(那珂川森林計画区)

計画期間 自 平成23年4月 1日  
至 平成28年3月31日

関東森林管理局

## 目 次

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域	1
2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積 又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごと の更新方法及び更新量	1
(1) 伐採造林計画簿	1
(2) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別面積等	1
(3) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別の上限伐採面積	2
(4) 資源の循環利用林における生産群別の面積等	3
(5) 資源の循環利用林における生産群別の標準伐採量	3
(6) 伐採総量	4
(7) 更新総量	5
(8) 保育総量	5
3 林道の整備に関する事項	6
4 治山に関する事項	9
5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域	10
(1) 保護林の名称及び区域	10
(2) 緑の回廊の名称及び区域	11
6 レクリエーションの森の名称及び区域	14
7 その他必要な事項	21
(1) 施業指標林、試験地等	21
(2) フィールドの提供	22
(3) その他	23

## 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

## 2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

### (1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別添伐採造林計画簿に示すとおりである。

### (2) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別面積等

（単位：面積ha、伐期齢 年）

施業群	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
スギ長伐期	2,273.91	伐採面積の縮小、モザイク的配置	80
スギ分散伐区	2,094.76	〃	45
ヒノキ長伐期	698.05	〃	80
ヒノキ分散伐区	317.53	〃	50
ヒノキ枝打分散伐区	2,174.80	伐採面積の縮小、モザイク的配置、照度の確保	50
アカマツ長伐期	124.28	伐採面積の縮小、モザイク的配置	80
アカマツ分散伐区	3.52	〃	50
カラマツ長伐期	745.32	〃	80
カラマツ分散伐区	—	—	—
スギ複層林	335.13	水源かん養機能に配慮した非皆伐	45～90
ヒノキ複層林	284.34	〃	50～100
その他複層林	—	—	—
天然生アカマツ分散伐区	303.08	伐採面積の縮小、モザイク的配置	50
ぼう芽分散伐区	347.84	〃	25
天然林漸伐分散伐区	779.72	伐採面積の縮小、モザイク的配置、伐採率の縮小	60
ブナ漸伐分散伐区	—	〃	—
択伐	7,177.07	(注)1による	回帰年は定めない
その他	390.74	(注)2による	定めない
施業群設定外	28.75	—	—
合計	18,078.84	—	—

(注)1 択伐施業群の伐採は標準伐期齢以上とし、水源かん養機能の発揮に配慮しつつ隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。

2 保護樹帯の伐採は、保護樹帯設定基準によるものとする。

## (3) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	上限伐採面積	摘要
スギ長伐期	142	
スギ分散伐区	233	
ヒノキ長伐期	44	
ヒノキ分散伐区	32	
ヒノキ枝打分散伐区	217	
アカマツ長伐期	8	
アカマツ分散伐区	0	
カラマツ長伐期	47	
カラマツ分散伐区	—	
スギ複層林	37	
ヒノキ複層林	28	
その他複層林	—	
天然生アカマツ分散伐区	30	
ぼう芽分散伐区	70	
天然林漸伐分散伐区	65	
ブナ漸伐分散伐区	—	
択伐	718	
その他	39	
施業群設定外	—	
合計	1,710	

(4) 資源の循環利用林における生産群別の面積等

(単位：面積 h a、伐期齢 年)

生産群	面積	生産目標等	伐期齢又は回帰年
スギ大径材	0.64	造作材 (36cm)	80
スギ中径材	1,351.10	一般建築材 (22cm)	45
ヒノキ大径材	—	—	—
ヒノキ中径材	309.74	一般建築材 (22cm)	50
ヒノキ無節柱材	—	—	—
アカマツ大径材	—	—	—
アカマツ中径材	46.75	一般建築材 (24cm)	50
カラマツ大径材	4.81	造作材 (24cm)	80
カラマツ中径材	6.66	一般建築材 (22cm)	50
スギ複層林	7.26	一般建築材 (22cm)	45～90
ヒノキ複層林	—	—	—
その他複層林	—	—	—
天然生アカマツ中径材	0.10	一般建築材 (24cm)	50
ぼう芽	111.41	しいたけ原木 (8～12cm)	25
天然林漸伐	1.00	家具・木工・加工用 (30cm)	60
ブナ漸伐	—	—	—
択伐	1.54	家具・木工・加工用 (30cm)	回帰年は定めない
その他	1.37	定めない(保護樹帯等)	定めない
生産群設定外	—	—	—
合計	1,842.38		

(注) 1. 「生産目標等」の数値は、生産目標とする胸高直径である。

2. 択伐生産群の伐採は標準伐期齢以上とし、隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。

(5) 資源の循環利用林における生産群別の標準伐採量

当該森林計画区の「資源の循環利用林」は分収林が大部分であり、標準伐採量は定めないこととする。

## (6) 伐採総量

(単位：面積ha、材積)

区 分		林			地		林地 以外	合 計	
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計			
水 土 源 か ん 保 養 タ イ プ 林	国土保全タイプ	—	1,829 (19.63)	1,829	11,000	201,027	—	201,027	
	水	スギ長伐期	—	58,996					58,996
		スギ分散伐区	322	68,273					68,595
		ヒノキ長伐期	—	4,017					4,017
	源	ヒノキ分散伐区	—	2,850					2,850
		ヒノキ枝打分散伐区	505	16,969					17,474
		アカマツ長伐期	—	797					797
	か	カラマツ長伐期	—	2,581					2,581
		スギ複層林	—	10,431					10,431
		ヒノキ複層林	—	1,778					1,778
	ん	天然生アカマツ分散伐区	—	31					31
		天然林漸伐分散伐区	—	703					703
		択 伐	—	5,898					5,898
	保	そ の 他	—	1,526					1,526
		小 計	827	174,850 (1,857.96)					175,677
計		827	176,679 (1,877.59)	177,506					
と森 の林 共と 生人 林	自然維持タイプ	—	—	—					
	森林空間利用 タイプ	—	12,521 (232.59)	12,521					
	計	—	12,521 (232.59)	12,521					
資 源 の 循 環 利 用 林	スギ中径材	112,629	21,105	133,734					
	ヒノキ中径材	4,726	2,027	6,753					
	アカマツ中径材	2,971	453	3,424					
	カラマツ中径材	—	160	160					
	スギ複層林	—	329	329					
	天然生アカマツ中径材	—	6	6					
	ぼう芽	253	73	326					
	計	120,579	24,153 (236.44)	144,732					
合 計		121,406	213,353 (2,346.62)	334,759	18,200	352,959	—	352,959	
年 平 均		24,281	42,671 (469.32)	66,952	3,640	70,592	—	70,592	

(注) ( ) は、間伐面積である。

## (7) 更新総量

(単位：h a)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資 源 の 循 環 利 用 林	合 計
		国 土 保 全 タイプ	水 源 かん養 タイプ	計	自 然 維 持 タイプ	森 林 空 間 利 用 タイプ	計		
人 工 造 林	単層林造成	—	36.67	36.67	—	—	—	262.09	298.76
	複層林造成	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	36.67	36.67	—	—	—	262.09	298.76
天 然 更 新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	3.12	3.12	—	—	—	—	3.12
	ぼう芽	—	—	—	—	—	—	5.60	5.60
	計	—	3.12	3.12	—	—	—	5.60	8.72
合 計		—	39.79	39.79	—	—	—	267.69	307.48

## (8) 保育総量

(単位：h a)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資 源 の 循 環 利 用 林	合 計
		国 土 保 全 タイプ	水 源 かん養 タイプ	計	自 然 維 持 タイプ	森 林 空 間 利 用 タイプ	計		
保 育	下刈	—	814.67	814.67	—	—	—	1,076.40	1,891.07
	つる切	1.36	236.01	237.37	—	0.15	0.15	4.50	242.02
	除伐	2.72	495.30	498.02	—	0.29	0.29	4.50	502.81

### 3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	開設	石 倉	3	850	
		田 中	26	1,000	
		両 郷	35	2,000	
		茗 荷 沢	40	3,000	
	小計	4 路線		6,850	
基幹	改良	所	5、6、13、14	200	
		檜沢・如来入（如来入）	21、23	100	
		檜沢・如来入（檜沢）	24、25	150	
		大川（白湯山）	158、159	300	
		西 荒 川	321、325、326、 338、339、342	1,000	
		釈迦岳・関谷（第二八方）	351～353、355	200	
		釈迦岳・関谷（金精）	355、356、358	200	
		釈迦岳・関谷（関谷）	367～372	1,000	
		釈迦岳・関谷林道第二支線	371、376～378	200	
		釈迦岳・関谷林道関谷支線	371、376、377	200	
		ウ ト ウ 沢	431～433	200	
	安 戸 山	447～450	1,000		
小計	12 路線		4,750		
その他	改良	横 枕	1	50	
		大 沢	2	50	
		石 倉	3	10	
		南 沢	4	10	
		江 戸 沢	7、13	100	
		西 ノ 沢	8、9	10	
		薬 師 岳	9	20	

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	改良	大 月 沢	15	30	
		ヨ ガ 沢	16	10	
		猪 の 沢	18、19	20	
		阿 寺	25	200	
		上 南 方	26	10	
		田 中	27	50	
		芳 釜 沢	27	200	
		北 富 士	28、32	10	
		塩 の 草	29	20	
		木 佐 美	31	10	
		寺 宿	32	10	
		入 小 滝	33	10	
		不 動 沢	34	100	
		追 分	38	10	
		月 見	39	100	
		西 沢	306、308～311	500	
		東 沢	312～315	500	
		泉 川	317	200	
		西 荒 川 林 道 白 沢 支 線	324、325	200	
		西 荒 川 林 道 山 の 神 支 線	327、338、339	200	
		西 荒 川 林 道 山 の 神 支 線 山 の 神 分 線	327	200	
		大 名 沢	328～330	500	
		大 名 沢 林 道 大 名 沢 支 線	329	200	
大 名 沢 林 道 鳥 羽 支 線	329、330	200			
天 上 沢	334、335	200			

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	改良	釈迦岳・関谷（釈迦岳）	343～346	300	
		釈迦岳・関谷林道釈迦岳支線	345	200	
		八 方	351、353	200	
		第 三 八 方	353、355、356	200	
		木 の 芽 沢	357、360	500	
		宇 都 野	363	200	
		檜 沢	366	200	
		下 戸 倉 沢	367、369	1,000	
		関谷林道ケヤキ沢支線	372、373	200	
		甘 湯	394、398、399	200	
		上 の 原	399	200	
		新 湯	410、411	300	
		下 新 湯	410	300	
		長 沢	405、406、407	1,000	
		赤 川	421	200	
		元 湯	421～423	200	
		元湯林道棚畑沢支線	422、423	200	
		引 久 保	423	200	
		シ ラ ン 沢	431、439	200	
		大 網	447	200	
安戸山林道安戸山支線	450	500			
	小計	53 路線		10,640	
合計	開設	4 路線		6,850	
	改良	65 路線		15,390	

#### 4 治山に関する事項

位 置 (林 班)	区 分	工 種	計 画 量
1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、 13、14、15、16、19、22、23、24、25、27、 28、29、31、32、33、34、36、37、38、39、 40、310、312、314、315、316、317、318、 319、321、322、325、326、328、329、330、 331、336、338、339、342、353、355、356、 358、361、362、363、366、372、376、378、 391、393、394、399、402、406、407、421、 423、425、429、430、431、448、449、450	保安林の整備	その他	2,200ha
4、23、32、198、202、336、343、346、347、 370、372、389、390、423、447	保安施設	溪間工	33箇所
4、36、37、173、201、312、407、408、426、 442		山腹工	
372	地すべり防止		1箇所
合 計	保安林の整備		2,200ha
	保安施設		33箇所
	地すべり防止		1箇所

## 5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

### (1) 保護林の名称及び区域

動植物の保護、遺伝資源の保存等を図ることを目的として、下記のとおり保護林を設定し、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保護、保存を図っていくこととする。

種 類	名 称	既設 ・ 新設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
林木遺伝資源 保 存 林	那 須 街 道 ア カ マ ツ	既設	41.81	101い、に	気候帯区分における東 日本型(東海、関東型)のア カマツ遺伝資源の保存
林 木 遺 伝 資 源 保 存 林 計			41.81		
植 物 群 落 保 護 林	大 名 沢 天 然 ヒ ノ キ	既設	1.60	329ほ	原生林に準ずべき森林 で、学術及び森林施業上 の考証として必要
	流石山・大峠 風 衝 地	既設	97.31	170は <sub>1</sub> 、イ <sub>1</sub> 172ち <sub>1</sub>	亜高山帯植生の保護
	大佐飛山地	既設	8,152.35	188い～は、ロ 189い <sub>1</sub> ～は、ロ 190～193 全 200に～る、イ ロ <sub>4</sub> 、ロ <sub>5</sub> 201い、ろ <sub>1</sub> は～イ <sub>18</sub> 202い～る <sub>1</sub> ロ <sub>1</sub> ～ロ <sub>9</sub> 203全 204い <sub>1</sub> ～は ロ <sub>1</sub> ～ハ 436～438全	山地帯から亜高山帯植 生の推移帯の学術的保護
	尚仁沢ブナ・ イヌブナ等	既設	616.34	346い <sub>3</sub> 、ろ <sub>1</sub> 、ろ <sub>2</sub> 347い <sub>1</sub> ～ろ <sub>3</sub> 、に <sub>1</sub> に <sub>2</sub> 348全	この地方では貴重なブ ナ・イヌブナ天然林等の 保護
植 物 群 落 保 護 林 計			8,867.60		
合 計			8,909.41		

(2) 緑の回廊の名称及び区域

より広範で効果的な森林生態系の保護・保全に努めるため野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促すことを目的として、下記のとおり緑の回廊を設定する。

名 称	既設・新設	延長 (km)	面積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
日光・吾妻山地 緑の回廊	既設	26.0	18,586.02	101ろ <sub>1</sub> ～は、ほ～イ <sub>2</sub> 121全、126全、127全 129い～り、ロ 130～132全 133い～に、ロ 134全 135い～ろ <sub>2</sub> 136全 137い、ろ <sub>1</sub> 、は、に、ト <sub>2</sub> 、チ、ヌ 138ロ <sub>1</sub> ～ロ <sub>3</sub> 139ハ <sub>2</sub> ～ハ <sub>4</sub> 140い～に、ロ～ハ <sub>2</sub> 141全、142全 143い～イ <sub>1</sub> 144ろ 147に <sub>2</sub> 、ほ 148全、149全 150い～か <sub>2</sub> 、れ～ね、ロ 151い～わ、ロ <sub>1</sub> 152い、ろ 153～158全 159い <sub>1</sub> ～へ、ハ、ニ 160～163全 164い、ロ <sub>1</sub> ～ハ <sub>3</sub> 165い～ほ、ロ、ハ 166い～ぬ <sub>2</sub> 、ニ 167～169全 170い、ろ、は <sub>2</sub> ～ち、イ <sub>2</sub> 、ロ 171い～ち、ロ 172い～と、ち <sub>2</sub> 、ロ <sub>1</sub> 、ロ <sub>2</sub> 173い～る <sub>2</sub> 、か～れ、な～イ、ハ 174い <sub>1</sub> ～い <sub>3</sub> 、ろ、は <sub>1</sub> 、に <sub>1</sub> 、ほ、と ち、ぬ <sub>1</sub> 、ロ <sub>3</sub> 、ロ <sub>5</sub> 175い <sub>1</sub> 、い <sub>2</sub> 、ろ <sub>2</sub> ～ち、ハ、ニ 176～179全 180い～ほ、ニ <sub>1</sub> 、ニ <sub>2</sub> 183い～に、へ～か、ロ <sub>2</sub> 、ロ <sub>3</sub> 184ろ～に 185い、は 186全、187全 194い <sub>1</sub> 、ろ～へ、ロ 195ろ～り、ろ 196い <sub>1</sub> 、ろ <sub>1</sub> ～ち 197～199全 200い <sub>1</sub> 、い <sub>3</sub> ～は、わ、ロ <sub>1</sub> ～ロ <sub>3</sub> 201ろ <sub>2</sub>	日光地域から那須地域を経て福島県の吾妻山地に渡る総延長180kmの緑の回廊である。 日本海側と太平洋側の移行地帯に位置し、多様な植物群落の連続性を図るとともに、野生動物の移動等に適した低標高の里山に近い地域も含め、さらに希少猛禽類にも着目し、その生息域を重視することとする。 人工林は、適切に保育、間伐を行い、皆伐する場合でも小面積かつ分散させ、立地条件に応じて長伐期又は育成複層林施業を採用する。また、高齢級の天然林等は、地域における資源の利用を考慮する場合を除き、木材生産を目的とした伐採は行わないこととする。

名 称	既設・新設	延長 (km)	面積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
日光・吾妻山地 緑の回廊	既 設			202る <sub>2</sub> ～か 343全 344や～け 345れ <sub>1</sub> ～な 346い <sub>1</sub> 、い <sub>2</sub> 、い <sub>4</sub> ～い <sub>7</sub> 349ろ <sub>1</sub> ～ち 350全 352ろ～ほ 353て 355ま 358ぬ～わ 361い～れ <sub>2</sub> 370い～た <sub>1</sub> 、た <sub>3</sub> 、れ <sub>1</sub> ～ロ 371い、は～う <sub>3</sub> 、の～ロ 372い～に、へ <sub>1</sub> ～ふ <sub>2</sub> 373～375全 376い、に～た 377い～た <sub>1</sub> 378い～と <sub>5</sub> 379ろ、は 380全、381全 382い～は、ほ 383い <sub>1</sub> ～ろ、ほ～ち、ぬ、る 384全、385全 386ろ <sub>1</sub> ～る 387全 388い <sub>2</sub> 、ろ、へ～り、る、か～つ 389ろ <sub>1</sub> ～ろ <sub>11</sub> 、に～り、イ <sub>2</sub> ～ロ <sub>6</sub> 390全 391い <sub>1</sub> ～へ <sub>4</sub> 、ち～か、イ <sub>2</sub> 、イ <sub>3</sub> 392全、393全 394い～の、ロ 395～397全 398い <sub>1</sub> ～ほ、と～な <sub>6</sub> 、お～ロ 399い～く、ロ <sub>1</sub> ～ハ 400い～ら <sub>2</sub> 、う～お 401全 402い～ほ、と <sub>1</sub> ～そ、な、む～の ロ <sub>1</sub> 、ロ <sub>2</sub> 403全 404ろ、は、ほ～わ、ロ <sub>1</sub> 、ロ <sub>2</sub> 405全 406い <sub>1</sub> ～は、に <sub>2</sub> ～て、ロ 407い <sub>1</sub> ～て、き <sub>1</sub> 、ゆ～し <sub>4</sub> 408全 409ろ～へ 410全 411ろ～ロ <sub>2</sub> 412ろ～ぬ 413い <sub>1</sub> ～に、へ <sub>1</sub> ～と、ち <sub>2</sub> ～ぬ、る <sub>3</sub> わ <sub>1</sub> 、か	

名 称	既設・新設	延長 (km)	面積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
日光・吾妻山地 緑の回廊	既設			413い <sub>1</sub> ～に、へ <sub>1</sub> ～と、ち <sub>2</sub> ～ぬ、る <sub>3</sub> わ <sub>1</sub> 、か 414い～と 415い～に、ぬ <sub>2</sub> ～つ 420ろ～ぬ <sub>8</sub> 421い～に、と <sub>1</sub> 、と <sub>2</sub> 、り～む <sub>4</sub> 、 の <sub>2</sub> 、や、イ 422い～に <sub>2</sub> 、と～り、る <sub>1</sub> ～わ、よ た 423ろ～は <sub>8</sub> 、へ～れ <sub>3</sub> 、つ <sub>1</sub> ～イ 424ろ～へ 425い～と、ぬ～た、つ～イ 426い～は、へ、ち、ぬ～か <sub>3</sub> た～け <sub>3</sub> 、こ、イ～ハ <sub>2</sub> 427い～と <sub>2</sub> 、り～の 428全、429全 430い～に、ほ <sub>2</sub> ～へ <sub>2</sub> 、ち <sub>1</sub> 、ち <sub>2</sub> ぬ～か、た～イ 431い <sub>1</sub> ～ち、ぬ～イ 432～435全 439い <sub>1</sub> 、い <sub>2</sub> 、に、ほ、と～か、 た <sub>1</sub> ～そ、 440ろ～へ 441に、へ、ち、り、る、か～な <sub>4</sub> イ <sub>1</sub> ～イ <sub>4</sub> 442ろ～た、そ 433全 444い～へ 445全、446全 447い～イ 448い <sub>1</sub> ～ロ 449い～お、ハ、ホ <sub>1</sub> 、ホ <sub>2</sub> 450い～む <sub>2</sub> 、の、く <sub>1</sub> ～え <sub>2</sub> 、イ～ハ <sub>3</sub> 451い <sub>1</sub> ～か、れ <sub>1</sub> ～そ <sub>2</sub> 452い、に～そ、ハ 453ろ～と 454い <sub>1</sub> ～る	
合 計		26.0	18,586.02		

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
自然	奥 那 須	既設	942.04	那須連峰の主峰茶臼岳から連なる南月山、白笹山の西麓に位置し、南月山等の山頂部は火山特有の露岩帯を呈しハイマツ、シャクナゲ等の高山植物群落が見られる。沼原は、火山活動で形成された古い湖沼と湿原で、モウセンゴケ、ザゼンソウ、コバイケイソウ等の湿原植物が見られ、開花期には周辺の森林と調和して景観美を呈し、自然観察、探勝等に利用されている。 このため、利用者の安全を確保するための巡視に努めることとする。	127い <sub>1</sub> 、い <sub>2</sub> 、に～へ 150い～る <sub>1</sub> 、わ、よ <sub>1</sub> ～た 151い、は、に、と、ぬ、る <sub>1</sub> か～つ 152へ～ち 160ぬ、わ	育成複層林施業
			自然観察教育ゾーン 79.28 風景ゾーン 233.59 風致探勝ゾーン 629.17		127ろ、は、と 131い～ほ 150る <sub>2</sub> 、か <sub>1</sub> 、か <sub>2</sub> 、れ～ね 151ろ、ほ、へ、ち、り、る <sub>2</sub> 、わ 152い～ほ、り 153い <sub>1</sub> 、い <sub>2</sub> 160い～り、る <sub>1</sub> 、る <sub>2</sub> 161い～り	天然生林施業
休	八 方	既設	829.99	八方観光道路の沿線の大間々、小間々の高原台地を中心とした区域で高原台地にはレンジツツジの大群落、シモツケソウ、アカバナシモツケソウ等の植生も見られ、眺望も雄大であるため自然観察探勝等に利用されている。 このため、利用者の安全を確保するための巡視に努めることとする。	131イ 150イ、ロ 151イ～ロ <sub>2</sub> 152イ 153イ、ロ 161イ	林地以外
養			風景ゾーン 476.20 風致探勝ゾーン 353.79		349は、ほ <sub>1</sub> ～と <sub>1</sub> 、ち 352は、に 358る 361に～ほ <sub>2</sub> 、ち～る、よ～れ <sub>2</sub> 349い～ろ <sub>2</sub> 、に、と <sub>2</sub> 350い <sub>1</sub> 、い <sub>2</sub> 352ろ、ほ 353て 355ま 358ぬ、わ 361い～は、へ、と、わ、か 352イ～ロ <sub>2</sub> 358ロ 361イ <sub>1</sub> ～イ <sub>6</sub>	育成複層林施業 天然生林施業
林	自然休養林計		1,772.03			

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
自然 観 察 教 育 林	中大倉山	既設	131.30	ブナ、ミズナラ等の天然林、シロヤシオの群落、シャクナゲ等の高山植物により形成されており、自然観察等の利用にふさわしい森林である。ボランティアによるシロヤシオの保護活動も実施している。 このため、利用者の安全を確保するための巡視に努めることとする。	143ろ～に 147に <sub>2</sub> 、ほ 148い、ろ	天然生林施業
	茶白岳	既設	641.34	那須連峰の主峰茶白岳を中心とする山岳地帯及び茶白岳山頂部は火山特有の溶岩帯を呈し、盛んに噴煙を上げ、特有な自然景観を形成しハイマツ、シャクナゲ等の高山植物が群生しており、地元はもとより、国民の自然科学的な興味を助長させるにふさわしい森林である。 このため、利用者の安全を確保するための巡視に努めることとする。	137い～に 162に 163ろ 164い 165ほ 166と <sub>2</sub> 、り、ぬ <sub>1</sub>	天然生林施業
					137ロ <sub>1</sub> ～ヌ 138イ～ロ <sub>3</sub> 139イ <sub>1</sub> ～ハ <sub>4</sub> 162イ 163イ <sub>1</sub> ～イ <sub>3</sub> 、ロ <sub>2</sub> 164イ～ハ <sub>3</sub> 165ロ 166イ、ロ、ニ	林地以外
須巻富士	既設	17.44	塩原温泉塩釜地区の背景にあり、アカマツ、クリ、コナラ、カエデ等の天然林が原生に近い状態で良好に保存されており地元住民及び温泉客等に自然観察、植物観察等の利用がなされている。 このため、利用者の安全を確保するための巡視に努めることとする。	400は、に、へ ----- 398お 400い～ろ <sub>2</sub> 、ほ ----- 400イ <sub>1</sub> ～イ <sub>5</sub>	育成複層林施業  天然生林施業  林地以外	

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
自然観察	富士山・大沼	既設	46.51	通称塩原富士と言われている富士山を中心とした区域で、サワラ、ヒバ、モミ、イヌブナ、ミズナラ等の天然林が原生に近い状態で良好に保存されている。富士山東麓の大沼には、モリアオガエルが生息し、湿原地帯にはミズバショウ、アヤメ等の湿原植物が見られる。 また、これらの種の生育環境を向上させるべくボランティア団体による保護活動も行われている。 このため、利用者の安全を確保するための巡視に努めることとする。	399る <sup>9</sup> 、わ <sup>6</sup> 、か <sup>3</sup> 、か <sup>5</sup> 、よ <sup>3</sup> 、た <sup>3</sup> れ <sup>3</sup> ----- 399か <sup>4</sup> 、ら、く 403ほ ----- 399イ～ホ	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外
	箒 根	既設	23.99	獄山神社の背景林で、この地方としては珍しいヒノキの大径木がある。引き続きヒノキの保全に努める。	365や ----- 365ま <sup>1</sup> ～け	育成複層林施業 天然生林施業
	前 山	既設	11.30	自然公園の保護利用の啓蒙等を図るための博物展示館を有し、ハイキング、自然観察等に利用されている。 このため、利用者の安全を確保するための巡視に努めることとする。	378い～に	天然生林施業
育 林	自然観察教育林計		871.88			

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	那須高原 スキー場	既設	18.32	那須大丸温泉に隣接し、利用上恵まれた環境にあり、温泉客が多く利用している。	137イ <sub>1</sub> ～イ <sub>3</sub>	林地以外
	中大倉山 スキー場	既設	441.82	地形的は比較的緩やかな斜面であるが、変化に富んだコースであり、積雪量及び雪質にも恵まれ初心者から上級者まで利用されている。	146い <sub>2</sub> 、い <sub>3</sub>	育成単層林施業
					144い、に、ほ 145い <sub>1</sub> ～ろ <sub>2</sub> 146い <sub>1</sub> 、い <sub>4</sub> ～い <sub>7</sub> 、に <sub>1</sub> ～ほ 147い <sub>1</sub> ～は 181い～ち、ぬ～ら、う <sub>2</sub>	育成複層林施業
					144は、へ、と 145は～に <sub>2</sub> 146ろ、は、へ <sub>1</sub> 、へ <sub>2</sub> 147に <sub>1</sub> 181り、む、う <sub>1</sub> 、の～く	天然生林施業
					145イ 146イ <sub>1</sub> 、イ <sub>2</sub> 181イ～ロ <sub>6</sub>	林地以外
	明神岳 スキー場	既設	252.94	明神岳の西面に位置し、変化に富んだ傾斜を有し県内有数のレクリエーション地域である。	407あ、さ、き <sub>2</sub> 414り～わ、た、そ <sub>1</sub> ～つ 415ほ～へ <sub>3</sub> 、ち～ぬ <sub>1</sub> ね <sub>1</sub> ～な <sub>3</sub> 、な <sub>6</sub> ～う <sub>1</sub>	育成複層林施業
					414ち、か <sub>1</sub> ～よ <sub>2</sub> 、れ <sub>1</sub> 、れ <sub>2</sub> 415と、な <sub>4</sub> 、な <sub>5</sub> 、う <sub>2</sub> ～の <sub>2</sub>	天然生林施業
					414イ <sub>1</sub> ～ハ 415イ <sub>1</sub> ～ホ	林地以外
	奥塩原 キャンプ場	既設	4.64	新湯温泉の西方1kmに位置する。地元小中学生や塩原及び新湯温泉客等に利用者が多い。	406に <sub>1</sub>	天然生林施業
					406イ <sub>1</sub> 、イ <sub>2</sub>	林地以外
塩原高原 スポーツ林	既設	26.75	自然環境の維持・保全に配慮した、スポーツ、教育文化、保健休養、宿泊施設等が整備されている。	413ほ <sub>1</sub> ～ほ <sub>5</sub> 、る <sub>1</sub> 、る <sub>2</sub> 、る <sub>4</sub> わ <sub>2</sub>	育成複層林施業	
				413ち <sub>1</sub>	天然生林施業	
				413イ～ハ	林地以外	

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
野外スポーツ地域	箱の森スポーツ林	既設	31.89	塩原温泉の背景にあり、温泉客等に自然探勝、野外スポーツ及び森林浴等に利用されている。	441ろ	育成複層林施業
					442い <sub>1</sub> 、い <sub>2</sub> 、れ <sub>2</sub> ～れ <sub>4</sub> 、つ～な	
					441い、は <sub>1</sub> 、は <sub>2</sub>	天然生林施業
					442れ <sub>1</sub> 、ら	
					442イ～チ	林地以外
	野外スポーツ地域計		776.36			
風	殺生石	既設	23.99	那須湯本温泉の背景林にあり、那須火山の爆裂に伴う硫気孔から亜硫酸ガス等を盛んに噴出している、「殺生石」など特有な景観を呈す。	180い～は	天然生林施業
					180ロ <sub>1</sub> ～ホ	林地以外
景	那須道路	既設	30.96	県道那須高原線の道路沿線の森林で、道路の近景林として観光客に美しい森林景観を提供している。	101ぬ	育成複層林施業
					101ほ～り、る <sub>1</sub> ～わ	天然生林施業
					101イ <sub>1</sub> 、イ <sub>2</sub>	林地以外
林	深山ダム	既設	570.58	深山ダム建設に伴い出現した湖と森林（ブナ、ミズナラ等天然広葉樹林）が調和し、美しい自然景観を生み出されている。また、歩道等も整備され自然探勝等に利用されている。	155は、ほ	育成複層林施業
					156い、ろ、に	
					157に、へ	天然生林施業
					158ろ～に、へ <sub>1</sub> 、へ <sub>2</sub> 、ち <sub>2</sub> り、る <sub>1</sub> 、る <sub>2</sub> 、か、よ	
197ろ						
					155い、ろ、に	天然生林施業
					156は	
					157い～は、ほ	
					158い <sub>1</sub> ～い <sub>3</sub> 、ほ、と、ち <sub>1</sub> 、ぬ	
					わ、た	
					197い	
					198い、ろ	
					155イ <sub>1</sub> 、イ <sub>2</sub>	林地以外
					157イ <sub>1</sub> ～ロ <sub>2</sub>	
					158イ～ハ <sub>2</sub>	
					197ロ	
	大滝	既設	13.37	西荒川ダム上流の西荒川溪谷兩岸に位置する森林で、溪谷の「大滝」はすばらしい景観を呈している。	325ろ <sub>2</sub>	育成複層林施業
					342ろ <sub>1</sub> 、ろ <sub>2</sub>	
					325ち	天然生林施業
					326り <sub>3</sub> 、わ <sub>3</sub>	
					339い <sub>2</sub>	
					342い	

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
風	箒川溪谷	既設	409.99	那須塩原市関谷集落から塩原温泉に至る県道沿いの森林。また、県道と並行する箒川溪谷は、塩原温泉の溪谷美を代表する自然景観であり多くの観光客を楽しませている。	373ろ 445ろ～に 447は、に 449に、へ	育成複層林施業
					370ろ 372い 373い <sub>1</sub> 、い <sub>2</sub> 374い、は 445い 446い、よ 447い～ろ <sub>3</sub> 448い <sub>1</sub> ～い <sub>3</sub> 449い～は、ほ 450い、ろ	天然生林施業
					370ロ 445イ 447イ、ロ 448イ、ロ 449イ、ロ	林地以外
景	鹿ノ股沢	既設	268.88	県道八方観光道路沿いの森林。また、鹿股川の溪谷美と周辺の森林が調和して優れた自然景観を生み出し、観光客を楽しませてくれる。	386は <sub>1</sub> ～ほ 387は、ほ、へ	育成複層林施業
					379い <sub>1</sub> ～は 380い～は 381い～は 386い <sub>1</sub> ～ろ <sub>2</sub>	天然生林施業
					379イ 386イ 387イ <sub>1</sub> ～イ <sub>3</sub>	林地以外
林	元湯・赤川 溪谷	既設	124.36	元湯温泉の背景にあり、アカマツ、モミ、ブナ、クリ、ミズナラ等の天然生林で、下層にはヤシオツツジ、ヤマツツジ等が見られ、赤川溪谷と調和した自然景観が優れている。	413わ <sub>1</sub> 421は <sub>1</sub> 、と <sub>2</sub>	育成複層林施業
					411い、ろ 412い、ろ 413か 420い、ろ 421い、ろ、に～へ、ちり、く、や 422か <sub>1</sub> 、か <sub>2</sub> 、た	天然生林施業
風景林計			1,442.13			

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
風 致 探 勝 林	板 室	既設	27.61	板室温泉に通ずる道路沿いの森林で、那珂川の美しい溪流とモミ、ブナ、ミズナラ等の天然林が一体となって優れた自然美を生み出している。宿泊施設利用者等が散策や自然探勝等に利用している。	173に <sub>2</sub> 、ち <sub>2</sub> 、か	育成複層林施業
					173ほ <sub>2</sub> と、よ	天然生林施業
					173イ、ロ <sub>1</sub>	林地以外
	風 致 探 勝 林 計		27.61			
そ の 他	清 水 平 避 難 小 屋	既設	0.01		142ロ <sub>2</sub>	林地以外
	矢沢の滝園地	既設	1.39		174い <sub>2</sub>	天然生林施業
					174イ <sub>2</sub>	林地以外
	土平第一園地	既設	2.58		186に <sub>1</sub>	育成複層林施業
					441な <sub>2</sub> 、な <sub>3</sub>	天然生林施業
	土平第二園地	既設	0.53		186に <sub>3</sub> 442ぬ <sub>1</sub>	育成複層林施業
	土平第三園地	既設	0.84		186に <sub>2</sub> 442ち	育成複層林施業
					442へ、と	天然生林施業
塩原ダム園地	既設	0.90		369ロ	林地以外	
そ の 他 計		6.25				
合 計			4,896.26			

## 7 その他必要な事項

### (1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年月	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
施業指標林	ヒノキ枝打管理図による枝打作業	昭 57. 1	2. 56	36ま <sub>2</sub>	枝打管理図に従い、枝打の実行例を示し、枝打技術の普及等に資する。
施業指標林計			2. 56		
試験地	立石ヒノキ収穫試験地	昭 40. 7	1. 68	12は	成長量・収穫量及び林分構造の推移の解明
	田中 A 種収穫試験地	昭 18. 11	2. 38	26ぬ	〃
	山火事跡地追跡調査試験地	昭 52. 4	1. 27	18よ 19そ、つ	山火事跡地追跡調査
	環境保全モデル施業林	昭 47. 6	8. 88	407ね <sub>1</sub> ～ね <sub>7</sub>	風致維持のための施業試験地
試験地計			14. 21		
展示林	大山田展示林	昭 55. 4	2. 88	18ち	模範的な施業を行った林分等を長期的に存置し、森林施業についての広報等に利用する。
	如来入展示林	昭 60. 4	0. 16	23な <sub>1</sub>	〃
	野州ヒノキ展示林	昭 50. 4	3. 82	363あ	〃
	広葉樹間伐展示林	平 2. 4	0. 48	398ろ	〃
展示林計			7. 34		
次代検定林	一般次代検定林(関前第18号)	昭 48. 6	1. 20	363の <sub>1</sub> 、の <sub>4</sub>	遺伝的生産能力の検定(ヒノキ)
	一般次代検定林(関前第29号)	昭 50. 4	1. 42	356わ <sub>2</sub> ～わ <sub>4</sub>	〃 (ヒノキ)
	一般次代検定林(関前第30号)	昭 50. 4	2. 40	14つ <sub>3</sub>	〃 (ヒノキ)
	一般次代検定林(関前第52号)	昭 54. 4	0. 60	18と、わ <sub>1</sub>	〃 (スギ)
	遺伝次代検定林(関前第67号)	平 元. 5	3. 08	14す <sub>4</sub>	形質に関する遺伝特性の解明(ヒノキ)

種 類	名 称	設定年月	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
次代検定林	育種集団林 (関前第76号)	平 12. 4	0.78	34ふ <sub>4</sub>	第二世代品種の選抜・検 定(スギ)
	育種集団林 (関前第80号)	平 17. 4	0.78	5い <sub>8</sub> ~い <sub>10</sub>	第二世代品種の選抜・検 定(スギ)
次 代 検 定 林 計			10.26		
精英樹保護林	スギ大田原2号	昭 30. 8	1.10	27ゆ	
精 英 樹 保 護 林 計			1.10		
合 計			35.47		

(2) フィールドの提供

対象地(林小班)	設定の目的	名称	面積(ha)	協定団体
164い 165い~ほ 166い~ぬ <sub>2</sub>	ふれあいの森	那須ふれあいの森	209.12	(社)日本盆栽協会那須 野ヶ原支部 栃木県那須五葉松保存 会
398な <sub>3</sub> 401ち <sub>1</sub> 、り <sub>1</sub> ~イ <sub>2</sub>	社会貢献の森	赤沼~モリアオガ エルとサンショウ ウオの森~	12.95	森衛隊
127い <sub>1</sub> ~と	遊々の森	那須野ヶ原オオタ カの森	79.28	NPO法人オオタカ保護 基金
181い、へ~り、る <sub>1</sub> 、る <sub>2</sub> 、わ か、た~つ、う <sub>2</sub> 、お、く		那須北岳遊々の森	106.84	NPO法人那須高原自然 学校理事長
398と~る、か <sub>1</sub> 、か <sub>2</sub> 、か <sub>4</sub> れ <sub>2</sub> ~ね <sub>3</sub> 、な <sub>2</sub> 、な <sub>5</sub> 、イ 399は <sub>9</sub> 、~は <sub>12</sub> 、ち <sub>1</sub> 、ち <sub>2</sub> 、る <sub>1</sub> る <sub>3</sub> 、る <sub>6</sub> 、る <sub>7</sub> 、る <sub>9</sub> ~く ロ <sub>1</sub> ~ハ 401ち <sub>1</sub> 、り <sub>1</sub> 403い~に	多様な活動の 森	大沼周辺自然再生 推進計画	140.35	那須塩原市
411ぬ <sub>7</sub> 、る <sub>2</sub> 、わ <sub>1</sub>	ボランティア の森	摂政宮殿下御野立 所の森	2.00	森衛隊

(3) その他  
レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位	置	面積 (ha)	施業方法
149	い、ほ <sub>1</sub> ～へ <sub>2</sub> 、ち～ぬ		育成複層林施業
159	ろ、ほ		
162	い		
167	い		
170	と		
171	い～は、ち		
172	い～ほ		
196	ろ <sub>1</sub> ～は <sub>4</sub> 、ほ		
398	は、た～ね <sub>3</sub> 、な <sub>4</sub> 、な <sub>5</sub>		
399	う <sub>1</sub> ～お <sub>2</sub>		
405	い <sub>1</sub> ～ち <sub>5</sub> 、ち <sub>7</sub> 、ち <sub>8</sub> 、ぬ～る <sub>3</sub> 、る <sub>5</sub> ～か		
406	な <sub>7</sub> 、く～ま <sub>1</sub> 、ふ、こ		
407	い <sub>3</sub> 、ろ、わ、め <sub>3</sub> ～し <sub>4</sub>		
408	い		
410	は <sub>1</sub> 、は <sub>3</sub> 、は <sub>4</sub> 、に <sub>1</sub> ～ほ <sub>1</sub> 、ほ <sub>3</sub> ～ほ <sub>5</sub> 、ほ <sub>7</sub> 、へ <sub>1</sub> 、へ <sub>2</sub> 、へ <sub>4</sub> と <sub>1</sub> ～と <sub>4</sub> 、ち <sub>2</sub> ～ぬ <sub>2</sub> 、わ～そ		
411	は <sub>1</sub> ～に <sub>6</sub> 、ほ <sub>1</sub> ～と <sub>2</sub> 、と <sub>4</sub> ～わ <sub>3</sub> 、よ～れ		
412	は、に、へ～ぬ		
413	い <sub>1</sub> ～に、へ <sub>1</sub> ～と、り、ぬ、る <sub>3</sub>		
414	ろ～に、と		
415	い～に、わ <sub>1</sub> ～か、た <sub>1</sub> 、た <sub>2</sub> 、つ		
442	た、そ		
149	ろ～に <sub>3</sub> 、と		天然生林施業
154	い～は		
159	い <sub>1</sub> 、い <sub>2</sub> 、は～に <sub>2</sub> 、へ		
162	ろ <sub>1</sub> ～は <sub>2</sub>		
163	い		
167	ろ <sub>1</sub> ～は <sub>3</sub>		
170	ほ		
171	に、ほ		
174	い <sub>1</sub>		
196	い <sub>1</sub> 、は <sub>5</sub> 、に		
197	は、に		
380	に		
405	ち <sub>6</sub> 、り <sub>1</sub> ～り <sub>3</sub> 、る <sub>4</sub> 、よ		
406	け、え		
407	い <sub>1</sub> 、い <sub>2</sub> 、は <sub>1</sub> 、え		
410	は <sub>2</sub> 、は <sub>5</sub> 、ほ <sub>2</sub> 、ほ <sub>6</sub> 、ほ <sub>8</sub> 、へ <sub>3</sub> 、へ <sub>5</sub> 、ち <sub>1</sub> 、ぬ <sub>3</sub> 、る		
411	に <sub>7</sub> 、と <sub>3</sub> 、か		
412	ほ		
413	ち <sub>2</sub>		
414	い、ほ、へ		
415	ぬ <sub>2</sub> 、る、よ、れ、そ		
149	イ		林地以外
154	イ <sub>1</sub> 、イ <sub>2</sub>		
159	イ～ニ		
162	ロ		
163	ロ <sub>1</sub>		
165	イ、ハ		
166	ハ		
170	イ <sub>2</sub>		
171	イ、ロ		
172	イ、ロ <sub>1</sub>		
197	イ		
378	イ		
398	ロ		
411	イ <sub>1</sub> ～ロ <sub>2</sub>		
444	イ		
	合 計	1, 443. 69	

(注) (1)、(2) の箇所を除く。